

**中小企業がつくる地域の輪
つながりが価値を生み出し、
ともに成長する町**

.....
**～中小企業振興ビジョンとその方針～
【2025】**

**2025年9月29日
香川県三木町産業振興会議**

はじめに

三木町は、平野の中に小山が点在する「陸の瀬戸内」ともいえる特徴的な田園風景、日本最大級の大獅子による獅子舞等の魅力的な地域資源を誇る地域であり、県都高松市に隣接し、住宅、商業施設等の進出に伴い、旧さと新しさが混在するベッドタウンとして発展を遂げてきました。

産業面においては、特定の市場において高いシェアを有する企業、農産品等の地域資源を活用した事業を展開する企業等、多様な分野において競争力の高い企業が成長を遂げてきたほか、国立大学法人香川大学医学部及び農学部の2つのキャンパスを擁しており、高度人材の育成及び研究開発により、希少糖をはじめとする新たな製品や技術等の創出に寄与してきました。

一方、少子高齢化、国際競争の激化、感染症や自然災害等のリスクの増大等、近年、中小企業を取り巻く環境は、これまでにない大きな変化を迎えつつあります。

今後、社会及び経済構造が大きく変化する中で、次代を担う子どもたちに引き継ぐべき持続可能なまちづくりを進めていくためには、地域経済の根幹を支える中小企業の役割と重要性について、中小企業者、大企業者、経済団体、金融機関、教育機関、町民及び行政等が共通認識を持ち、その果たすべき役割を明らかにしながら、協働して取り組むことが大変重要であります。

そこで、町内事業者の振興施策を推進し、豊かで住みよいまちをつくるために、令和4年4月に「三木町中小企業振興基本条例」を制定し、この条例の目的を達成するために、「三木町産業振興会議」を設置し、その実行組織として「実務責任者会議」を設置しました。「実務責任者会議」は令和4年7月よりスタートし、まず地元の中小企業や小規模事業者の実態を捉え、これからの方向性を示す「三木町中小企業振興ビジョン」の策定に活かすための基礎調査として「三木町中小企業振興基本調査」を実施しました。

基本調査の分析の結果をもとに、中小企業者が力を発揮することで地域経済に活力を生み、三木町民やそこで働く人々が中小企業と共に生きがいと働きがいを見出すことができる豊かで住みよいまちの実現のため、「三木町中小企業振興ビジョン」としてその方針を策定しました。

「次の世代につなぐ三木町の未来」のために、「三木町中小企業振興ビジョン」の実現に向けて、中小企業者をはじめ、大企業者、経済団体、金融機関、教育機関、町民及び行政等が共通認識を持ち、その果たすべき役割を明らかにしながら、協働して取り組んでいきます。

三木町中小企業振興基本条例の目的及び基本理念

目的 条例（第1条）

この条例は、中小企業者の振興に関する基本理念及び施策の基本方針を定め、町の責務並びに中小企業者、大企業者、関係団体及び町民の役割を明らかにすることにより、中小企業者の振興に関する施策を総合的に推進し、もって地域経済に活力を生み、豊かで住みよいまちの実現に寄与することを目的とする。

基本理念 条例（第3条）

中小企業者の振興は、次に掲げる基本理念に基づき推進するものとする。

- (1) 中小企業者の自主的な努力と創意工夫を尊重すること。
- (2) 地域特性を生かした総合的な振興施策を講ずること。
- (3) 町、中小企業者、大企業者、関係団体及び町民が、中小企業者の果たす役割の重要性を理解し、協働して取り組むこと。



1 三木町の特徴

- ①高松市のベッドタウンで昼間人口は少ない
- ②合計特殊出生率（1.43）が香川県平均（1.62）に比べ低いが、住基年報人口移動によると、社会増減率（0.04）が香川県平均（0.01）に比べ高い
- ③令和6年1月時点の地価の下落率は他の市町に比べ低い
- ④町の中心部に商店や病院が集約されている
- ⑤高松市中心部や空港へのアクセスがよい
- ⑥ことでん長尾線の駅が7つある

2 事業所（者）の傾向

- ①建設業、製造業、卸売業・小売業、医療・福祉の業種の事業所が多い
- ②正社員数5人以下の事業所が全体の66%を占めている
- ③金融業・保険業、学術研究専門・技術サービス業、製造業で黒字割合が高い
- ④宿泊業・飲食、サービス業で赤字割合が高い
- ⑤企業理念、ビジョン、事業計画の策定率が低い
- ⑥企業ビジョンがある事業所で黒字割合が高い
- ⑦技術力、品質、価格・コストを強みと考えている事業所が多い
- ⑧新技術・ノウハウの投入速度、多品種、営業力を強みとする事業所で黒字割合が高い
- ⑨企画開発力、従業員・後継者の優秀さを強みとしている事業所で赤字割合が高い
- ⑩事業に必要な人材を確保できている事業所とできていない事業所はどちらも約半数
- ⑪人材の確保、人材の育成が経営上の課題であると考えている事業所が多く、次いで急激な環境変化への対応、販路の拡大が続いている
- ⑫事業活動に役立つ中小企業支援について、人材の確保への支援が役立つと考えている事業所が多いが、人材の育成への支援が役立つと考えている事業所は少ない
- ⑬人材不足の分野では、現場・作業で不足を感じている事業所が多く、特に建設業、電気・ガス・熱供給・水道業、サービス業で不足している。一方、人材不足無と感じている事業所も多い
- ⑭人材確保ができていない事業所では前期の利益に関係なく採用予定なしの割合が高い
- ⑮人材確保ができていない事業所では経営上の課題として人材の確保を挙げている割合が高い

- ⑯人材確保ができていない事業所は、必要な企業支援として人材の確保を挙げている割合が高いが、人材確保ができていない事業所では設備投資・店舗改修等、新技術・ノウハウ、IT化、情報発信を挙げている割合が高い
- ⑰今後の事業展開については、業績にかかわらず現状維持が最も割合が高く、黒字の事業所では事業拡大が続いている
- ⑱事業承継先では親族内承継の割合が業績にかかわらず高いが、未定の割合も同様に高く、業績がプラスマイナスゼロの事業所では約半数以上が未定と回答している
- ⑲親族外承継やM&Aを予定している割合は低い
- ⑳前期の業績が赤字の事業所では、事業承継について廃業予定と回答した割合が黒字やプラスマイナスゼロに比べ高い
- ㉑事業承継先について、廃業予定や今後未定であるとの回答を、併せて半数以上の事業所が回答している

3 調査から見えてくる事業所（者）が抱える課題

- ①人材確保について
現場・作業で不足を感じている事業所が多く、特に建設業、電気・ガス・熱供給・水道業、サービス業等特定職種で不足している。人材確保の問題点として、人材不足、労働条件や離職率の高さが挙げられる
- ②事業承継について
事業承継先について、廃業予定や今後未定であるとの回答を、併せて半数以上の事業所が回答
- ③企業理念、ビジョン、事業計画策定について
企業ビジョン等を策定している事業所では黒字割合が高い傾向にあるが、企業理念、ビジョン、事業計画を策定している事業所の割合は低い
- ④販路の拡大について
売上・収益の拡大を図るには新規顧客開拓が重要と考えている事業所が多い。次いで既存製品・サービスの高付加価値化が続いている
- ⑤物価高騰への対応
原油価格・原材料価格の高騰による影響は8割を超える事業所に影響が出ているが、4割の事業所で価格転嫁が困難との回答である



2. 三木町中小企業振興ビジョン

豊かで住みやすい地域経済をつくるため、三木町の中小企業及び小規模事業者は、以下の3点がとても重要だと考えます。

1 地元の中小企業や小規模事業者の自覚と努力

この三木町の経済や社会を支えているのは私たち中小企業者や小規模事業者です。私たちは、地域社会を牽引する重要な役割を担っていることを自覚し、変化の激しい経済的・社会的環境に対応しながら、事業の維持、発展、地域雇用の確保、人材育成に努めます。そのために、町内の関係団体と連携・協力体制を築き、地域社会の一員として地域の課題や歴史ある伝統行事に積極的にかかわることで、より住みやすい三木町の実現に向けて取り組みます。

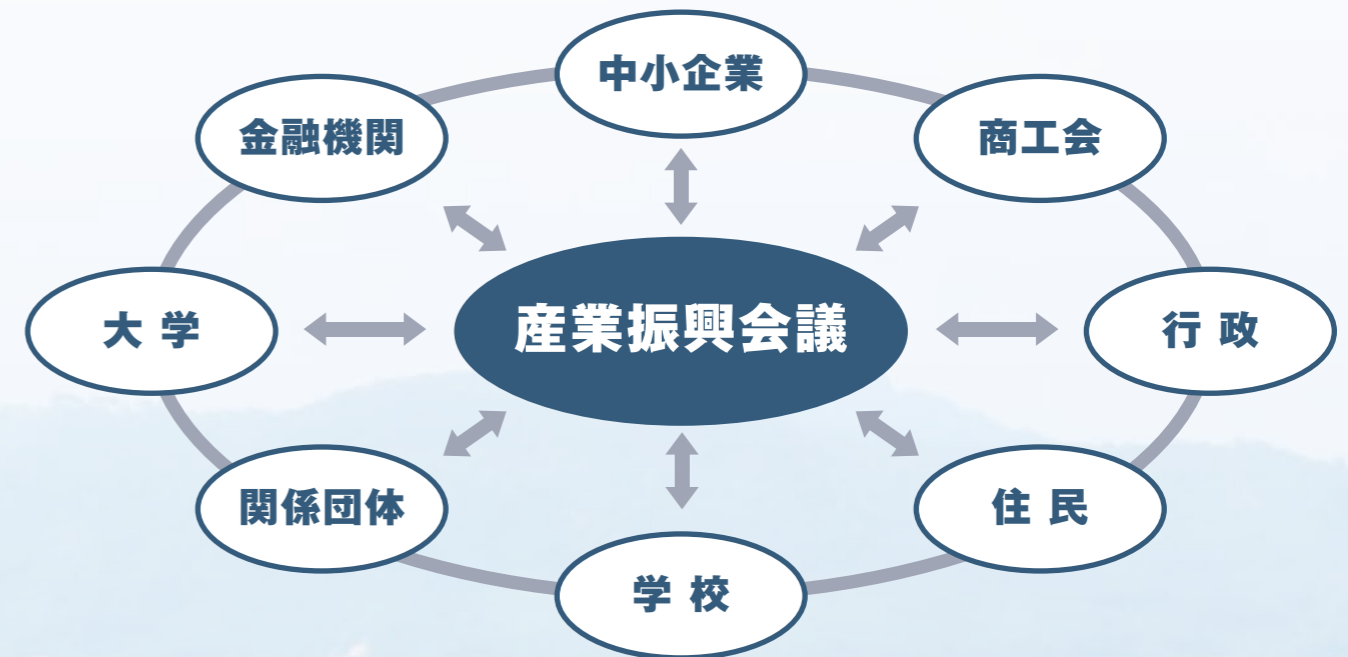
2 町民の理解と協力

中小企業や小規模事業者が三木町の経済や社会を支え、暮らしを豊かにするために重要な役割を果たしていることについて、町民に認知・理解してもらうことが大切です。そしてともに地域経済を支えるために、三木町にある「ひと」・「もの」を町民が積極的に選び、「収益」を町内で回すことで、豊かで住みやすい三木町の実現につなげることができます。また、三木町にある「ひと」・「もの」が町外の方からも選ばれる工夫も必要です。そのために地域社会の一員である町民と町に関わるひとすべてが、中小企業や小規模事業者と一体となって地域経済発展のためにともに協力していきます。

3 次代を担う若者たちへの継承

上記2つのことを、次代を担う若者たちに継承し持続可能なまちづくりを進めていくためには、教育機関と協力し、地域経済を支える中小企業や小規模事業者の役割と重要性について、小さい頃から「気づき」、「学び」の機会を、継続して設けることが重要です。町民だけでなく、町に関わるひとすべてが地域を支える主役としての認識を持ち、その果たすべき役割を明確にしながら、生きがいと働きがいを見いだすことができる、豊かで住みよいまちの実現のために協働して取り組むことが求められています。

三木町中小企業振興ビジョン2025



中小企業振興ビジョン実現のための4つの柱

①若者が帰ってくるまち

企業も関わる人も「自分事」として環境の整備や教育を実施することで、三木町へ帰ってきたくなる土壌をつくる。

②リアルな情報が行き交うまち

関係機関による様々な情報を一元的に取りまとめ、発信する体制をつくり、発信手法を工夫し、キャッチしやすい情報発信のしくみをととのえる。

③出会いとつながりが価値をうみ出すまち

企業・団体・支援機関・住民が連携して、地域課題の解決に努め、また地域資源を活用することで、みんなで活力あるまちをつくる。

④みんながともに学び成長するまち

関係機関が協力し、企業がともに学び成長できる「学びの場」をつくり、町全体で、さらには広域で人材を育成するしくみを整える。

1 若者が帰ってくるまち

企業も関わる人も「自分事」として環境の整備や教育を実施することで、三木町へ帰ってきたくなる土壌をつくる。

- キャリア教育(小・中・高)を通じて、地域企業の仕事内容や魅力を知る機会を提供する
- 起業サポートの充実により、町内で新たに創業できる環境を醸成する
- 将来を描ける安定的な雇用環境づくりにより、「三木町で働きたい」につながる企業をめざす
- 地域の伝統文化、地域行事に参加しやすい風土をつくる

2 リアルな情報が行き交うまち

関係機関による様々な情報を一元的に取りまとめ、発信する体制をつくり、発信手法を工夫し、キャッチしやすい情報発信のしくみをととのえる。

- 地域企業の魅力や三木町の特徴をリアルタイムで積極的・継続的に発信する
- 受信者のリアルなニーズの把握に努め、発信者との双方向の関係を築くことにより、「必要とされる」発信情報につなげる
- 様々な情報を一元的にとりまとめ、信頼できる情報として発信する体制を構築する
- 広域連携による情報収集、発信の仕組みを構築する

3 出会いとつながりが価値をうみ出すまち

企業・団体・支援機関・住民が連携して、地域課題の解決に努め、また地域資源を活用することで、みんなが活力あるまちをつくる。

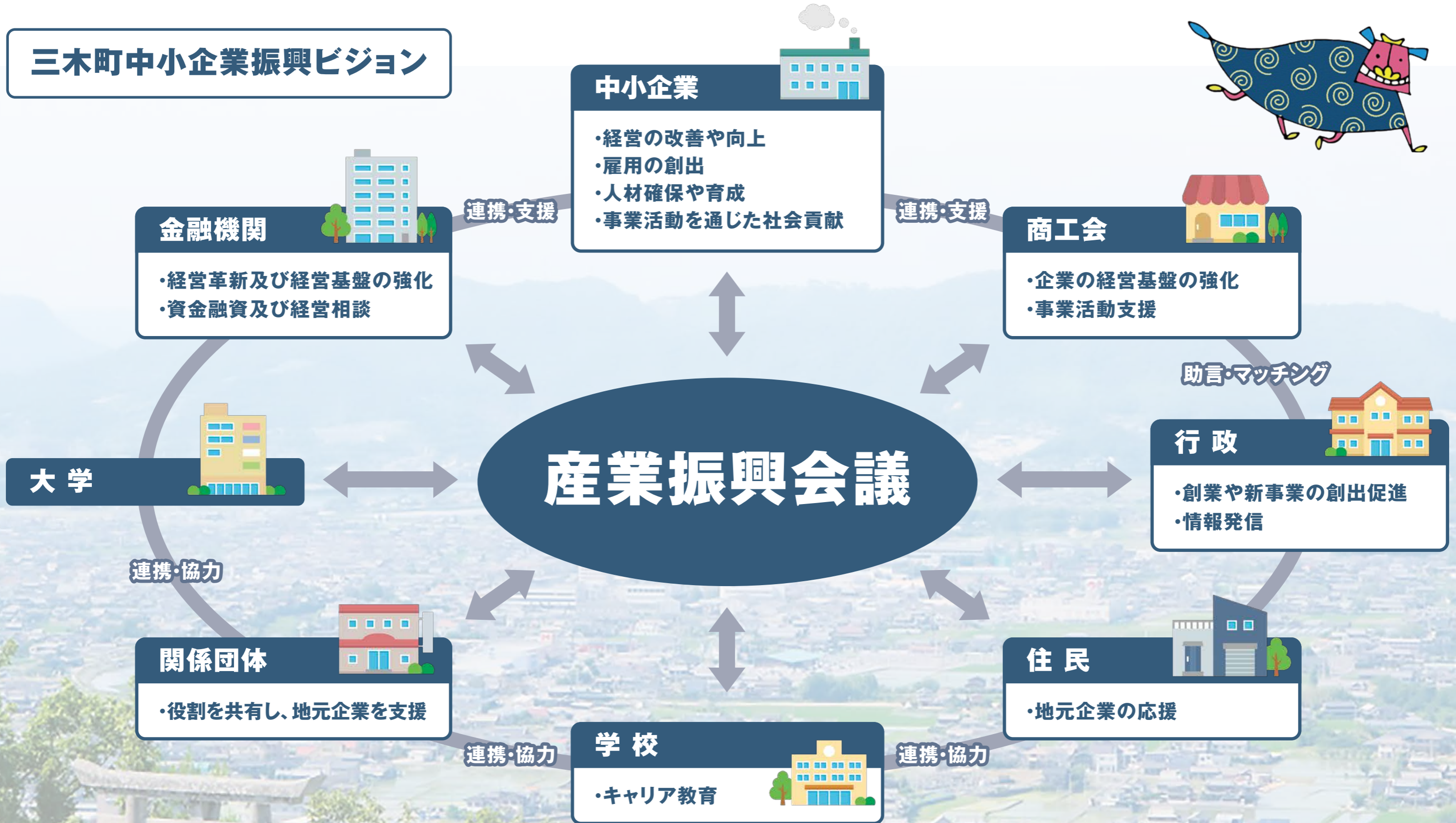
- 業種や世代を超えた出会いの場の創出
- 地域課題の解決に向けた連携の促進
- 地域資源を活かした新たなビジネスの創出

4 みんながともに学び成長するまち

関係機関が協力し、企業がともに学び成長できる「学びの場」をつくり、町全体で、さらには広域で人材を育成するしくみを整える。

- 学校や大学、金融機関などとの連携による学びの展開
- 地域企業がともに学べる場を設け、ともに成長できる環境を整える
- 子どもの頃から地域の伝統や文化を学び、未来に継承していく

三木町中小企業振興ビジョン



むすびに

ここに「三木町中小企業振興ビジョン — 中小企業がつくる地域の輪 —」とその方針をまとめました。

三木町の経済や暮らしを支えているのは、私たち中小企業や小規模事業者です。地域社会の大切な担い手であることを意識しながら、これからも町の未来を切り拓いていきます。

三木町がともに成長していくためには、中小企業や小規模事業者だけでなく、行政、教育機関、金融機関、関係団体、そして町に暮らすみなさんとのつながりが欠かせません。それぞれが役割を果たし、つながりを持つことで、町の課題を乗り越え、安心して暮らせるまちを実現できます。

また、三木町にある地域の資源を活かしながら新しい価値を生み出すことが、持続的な発展へとつながります。こうした取り組みは、次世代を担う若者たちに受け継がれ、未来へ受け渡していくものです。

私たち一人ひとりの行動が三木町の成長へとつながり、三木町の資源を次世代へとつなげられるよう「ともに」努力していきましょう。

【発行・お問い合わせ】

香川県三木町産業振興会議

事務局 三木町地域活性課 ☎087-891-3320